世界禁煙デー イブニング・セミナー

～たばこ対策：これまでの教訓と科学的エビデンス～

HGPI Health and Global Policy Institute

日時：2017年5月30日（火）19時00分～21時00分（開場　18時30分）

場所：都市センターホテル 会議室701

受動喫煙防止対策を強化する健康増進法改正案の議論や、東京都も「Tobacco Free」（たばこの煙のない環境）でオリンピックを開催することに合意しています。本フォーラムでは、このような政策転換のモメンタムが高まっているたばこ対策について、科学的根拠に基づいたデータを提示します。また、過去の政治的葛藤などからの教訓も共有することで、政策の論点を整理します。

日本医療政策機構では、2009年の緊急集会「たばこ政策の重要課題-健康増進と価格政策-」を主催し、広く国民を巻き込んだ議論を行っており、継続的にたばこ対策について提言活動や情報発信を実施しております。World No Tobacco Day（世界禁煙デー）も5月31日に迫っており、世界禁煙デーに合わせて、グローバルな視点かつマルチステークホルダーによるディスカッションを通して、あるべきたばこ対策の次の打ち手について提起します。

プログラム（敬称略・五十音順）

18:30　開場

19:00　**開会の辞**

小池 百合子（東京都 知事）

19:10　**パネルディスカッション**

パネリスト：

五十嵐 中（東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学 特任准教授 /日本医療政策機構 フェロー ）

津川 友介*（ハーバード公衆衛生大学院 研究員）　*ボストン（米国）よりストリーミング出演

松沢 成文（参議院議員・前神奈川県知事）

三原 じゅん子（参議院議員）

モデレーター：

小野崎 耕平（日本医療政策機構 理事）

21:00　**閉会**

登壇者（開会の辞）　（敬称略）

小池 百合子

東京都 知事

東京都知事。元防衛大臣。元内閣総理大臣補佐官（国家安全保障問題担当）。元環境大臣・内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）。元自民党総務会長。１９５２年７月兵庫県芦屋市生まれ。１９７６年カイロ大学文学部社会学科卒業。アラビア語通訳を務め、８８年から『ワールドビジネスサテライト』（テレビ東京）の初代キャスターとして活躍（～９２年）。１９９２年７月、政界に身を投じ、現在まで参議院議員１期、衆議院議員８期連続当選。２００３年９月環境大臣就任に加え、翌年９月沖縄・北方対策大臣を兼任。２００７年７月には女性初の防衛大臣を務めた。２００８年９月女性で初めて自由民主党総裁選挙に立候補。２０１６年8月、女性初の東京都知事に就任。著書に『無電柱革命』、『自宅で親を看取る』『2030プロジェクト。女性が活きる成長戦略のヒント』、『「エコだハウス」入門』、『もったいない日本』、『女子の本懐』、『小池式・コンセプトノート』など多数。「クールビズ」のプロデュースなど発想力には定評がある。

特定非営利活動法人 日本医療政策機構
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ3 階 Global Business Hub Tokyo
Tel: 03-4243-7156 Fax: 03-4243-7378　E-mail: info@hgpi.org（担当：菅原）

登壇者（パネルディスカッション）

（敬称略・五十音順）

HGPI Health and Global Policy Institute

五十嵐 中
東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学 特任准教授 / 日本医療政策機構 フェロー

2002年東京大学薬学部薬学科卒業．2008年東京大学大学院薬学系研究科博士後期課程修了．2008年から同大学院特任助教を経て、2015年から現職．専門は薬剤経済学．医療経済ガイドラインの作成・個別の医療技術の費用対効果評価・QOL評価指標の構築など、多方面から意思決定の助けとなるデータの構築を続けてきた。著書に、「医療統計わかりません (東京図書, 2010)」「わかってきたかも医療統計 (東京図書, 2012)」「薬剤経済わかりません (東京図書, 2014)」などがある。

津川 友介
ハーバード公衆衛生大学院 研究員

聖路加国際病院、ベス・イスラエル・ディーコネス・メディカルセンター（ハーバード大学医学部病院）、世界銀行を経て現職。2017年7月から、UCLA医学部の一般内科・ヘルスサービスリサーチ部門の助教に就任予定。東北大学医学部にてMD、ハーバード公衆衛生大学院にてMPH（公衆衛生学修士号）、ハーバード大学にて医療政策学のPhDを取得。著書（共著）に「原因と結果の経済学」（ダイヤモンド社）。専門は医療政策学、医療経済学。

松沢 成文
参議院議員、前神奈川県知事

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、松下政経塾に入塾（第3期生）。神奈川県議会議員、衆議院議員3期、神奈川県知事2期を経て、現在、参議院議員。著書に、『JT、財務省、たばこ利権』（ワニブックスプラス新書）『甦れ! 江戸城天守閣』（ヨシモトブックス）など多数。

三原 じゅん子
参議院議員

参議院厚生労働委員会委員、予算委員会理事、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員の他、自由民主党国際保健医療戦略特命委員会副委員長なども務める。2008年に子宮頸がんを患った経験や、実父が長年要介護状態にあったことから医療・介護問題への関心が強く、数多くのNPO団体と共に、積極的にがん撲滅などの啓発活動に取り組んできた。2010年参議院全国比例区にて初当選。2016年7月参議院神奈川選挙区にて2期目の当選。自身の闘病や介護施設運営の経験を元に、がん予防、がん患者への福祉および不妊治療への対策や介護従事者の処遇の改善など、社会福祉政策の分野で女性･高齢者が暮らしやすい社会の実現に向け、全力を傾けている。

小野崎 耕平
日本医療政策機構 理事

三重県出身。米ジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）にて営業・マーケティング、英アストラゼネカにて執行役員コーポレートアフェアーズ本部長（法務・広報・政策担当）として危機管理や組織改革等に従事。07年より日本医療政策機構に参画、事務局長などを経て14年より理事。現在はエゴンゼンダー東京オフィスにて企業・団体の組織変革や経営陣の評価・育成・採用支援に従事する傍ら、社会活動として教育・医療分野を中心に複数の非営利組織の活動を支援。厚生労働省保健医療政策担当参与、厚生労働大臣の私的懇談会「保健医療２０３５」事務局長ほか。米ハーバード公衆衛生大院修了（保健医療政策）。

日本医療政策機構とは

日本医療政策機構（HGPI）は、今年で設立13年を迎えました。マルチステークホルダーの参画による医療政策の実現を活動の軸にし、各ステークホルダーが広く議論する場を、提供し続けています。
マルチステークホルダーの参画とともに、我々が設立当初から重視してきたのがグローバルな視座（グローバル・パースペクティブ）です。近年、主要国では、高齢社会、慢性疾患の増加、格差の拡大、財政状況の悪化などを背景とし、人々が健康に暮らす持続可能な社会の実現に向け、新たな社会システムの設計が喫緊の課題になっています。
日本国内はもとより、世界に向けても有効な医療政策の選択肢を提示し、地球規模の健康・医療課題を解決すべく、これからも皆様とともに活動して参ります。